

2024-2025競技規則 新旧対比表

2024年4月1日 改正

条	項	号	2022～2023年版(旧)	2024～2025年版(新)																																																																																																																																																																																																																				
103	2	4	第106条、第130条、第131条1項(5)、第206条9項、第208条4項(1)、第209条、第215条5項、第217条1項(6)、第333条2項、第347条2項および同3項の規程を遂行する。	第106条、第130条、第131条1項(5)、第206条9項、第208条4項(1)、第209条、第215条5項、第217条1項(6)、 第335条2項、第349条2項 および同3項の規程を遂行する。																																																																																																																																																																																																																				
103	4	3		審判長は、審判員が行った決定のうち、誤りであると認められるものを正すことができる。ただし、215条1項および4項に記載されている異議申立対象外の事項については、正すことはできないものとする。																																																																																																																																																																																																																				
103		4	本条5項(7)、(10)、第131条1項(5)、第206条9項、第207条7項、第209条、第210条1項、第217条1項(6)、第332条、第333条、第335条、第342条および第347条3項の規程を遂行する。	本条5項(7)、(10)、第131条1項(5)、第206条9項、第207条7項、第209条、第210条1項、第217条1項(6)、 第334条、第335条、第337条、第344条および第349条3項 の規程を遂行する。																																																																																																																																																																																																																				
103	6		DOSの任務は、次のとおりとする。 本条第5項(7)、(9)、第125条5項、第131条、第206条2項(3)、同9項、第207条2項(1)、同3項、同4項(1)、同6項(2)、第208条2項(6)、同3項、第209条7項、第214条4項、第324条1項および第342条の規程を遂行する。	DOSの任務は、次のとおりとする。 本条第5項(7)、(9)、第125条5項、第131条、第206条2項(3)、同9項、第207条2項(1)、同3項、同4項(1)、同6項(2)、第208条2項(6)、同3項、第209条7項、第214条4項、 第326条1項および第344条 の規程を遂行する。																																																																																																																																																																																																																				
108	1		種別(クラス)を、次のように分ける。 ・U18女子 ・U18男子 ・U21女子 ・U21男子 ・一般女子 ・一般男子 ・50+女子 ・50+男子 ・パラアーチェリー(第2部第19章パラアーチェリー参照)	種別(クラス)を、次のように分ける。 ・ U15女子 ・ U15男子 ・U18女子 ・U18男子 ・U21女子 ・U21男子 ・一般女子 ・一般男子 ・50+女子 ・50+男子 ・パラアーチェリー(第2部第19章パラアーチェリー参照)																																																																																																																																																																																																																				
108	2		ターゲットおよびフィールドアーチェリーの競技では、それぞれU18女子、U18男子、U21女子、U21男子、一般女子、一般男子、50+女子および50+男子のための独立した競技会を開催することができる。 本連盟が主催する競技会またはWA公認競技会において、競技者は、1種別のみ競技できる。これは競技者が出場資格を有する全種別に適用する。	ターゲットおよびフィールドアーチェリーの競技では、それぞれU18女子、U18男子、U21女子、U21男子、一般女子、一般男子、50+女子および50+男子のための独立した競技会を開催することができる。 ターゲットアーチェリーの競技では、U15女子およびU15男子のための独立した競技会を開催することができる。 本連盟が主催する競技会またはWA公認競技会において、競技者は、1種別のみ競技できる。これは競技者が出場資格を有する全種別に適用する。																																																																																																																																																																																																																				
108	8			U15部門に参加できるのは、競技者が14歳の誕生日を迎える年の12月31日までに開催される競技会までとする。																																																																																																																																																																																																																				
108	9			U15の競技者は、自分の判断に従って、U18の種別、U21の種別および一般の種別で競技に参加することができる。																																																																																																																																																																																																																				
108	10		U18、U21、一般および50+の種別を分けることなく、女子および男子の種別のみとし、あるいはさらに細分化した年齢区分を採用することができる。 また、国内競技会においては、小学生・中学生・高校生の部門を設けるなど、開催要項等で制限することができる。	競技会は、U15、U18、U21、一般および50+の種別を分けることなく、女子および男子の種別のみとし、あるいはさらに細分化した年齢区分を採用することができる。 また、国内競技会においては、小学生・中学生・高校生の部門を設けるなど、開催要項等で制限することができる。																																																																																																																																																																																																																				
110			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">リカーブ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リカーブ女子</td> <td>RW</td> <td>リカーブ男子</td> <td>RM</td> </tr> <tr> <td>リカーブU21女子</td> <td>RU21W</td> <td>リカーブU21男子</td> <td>RU21M</td> </tr> <tr> <td>リカーブ50+女子</td> <td>R50W</td> <td>リカーブ50+男子</td> <td>R50M</td> </tr> <tr> <td>リカーブU18女子</td> <td>RU18W</td> <td>リカーブU18男子</td> <td>RU18M</td> </tr> <tr> <th colspan="4">コンパウンド</th> </tr> <tr> <td>コンパウンド女子</td> <td>CW</td> <td>コンパウンド男子</td> <td>CM</td> </tr> <tr> <td>コンパウンドU21女子</td> <td>CU21W</td> <td>コンパウンドU21男子</td> <td>CU21M</td> </tr> <tr> <td>コンパウンド50+女子</td> <td>C50W</td> <td>コンパウンド50+男子</td> <td>C50M</td> </tr> <tr> <td>コンパウンドU18女子</td> <td>CU18W</td> <td>コンパウンドU18男子</td> <td>CU18M</td> </tr> <tr> <th colspan="4">パラリカーブ</th> </tr> <tr> <td>リカーブ女子オープン</td> <td>RWO</td> <td>リカーブ男子オープン</td> <td>RMO</td> </tr> <tr> <th colspan="4">パラコンパウンド</th> </tr> <tr> <td>コンパウンド女子オープン</td> <td>CWO</td> <td>コンパウンド男子オープン</td> <td>CMO</td> </tr> <tr> <th colspan="4">W1オープン</th> </tr> <tr> <td>女子W1オープン(RC/CP)</td> <td>WW1</td> <td>男子W1オープン(RC/CP)</td> <td>MW1</td> </tr> <tr> <th colspan="4">視覚障害</th> </tr> <tr> <td>視覚障害1</td> <td>V1</td> <td>視覚障害2/3</td> <td>V2/3</td> </tr> <tr> <th colspan="4">ベアボウ</th> </tr> <tr> <td>ベアボウ女子</td> <td>BW</td> <td>ベアボウ男子</td> <td>BM</td> </tr> <tr> <td>ベアボウU21女子</td> <td>BU21W</td> <td>ベアボウU21男子</td> <td>BU21M</td> </tr> <tr> <td>ベアボウU18女子</td> <td>BU18W</td> <td>ベアボウU18男子</td> <td>BU18M</td> </tr> <tr> <th colspan="4">ロングボウ および トラディショナル</th> </tr> <tr> <td>ロングボウ女子</td> <td>LW</td> <td>ロングボウ男子</td> <td>LM</td> </tr> <tr> <td>トラディショナル女子</td> <td>TW</td> <td>トラディショナル男子</td> <td>TM</td> </tr> </tbody> </table>	リカーブ				リカーブ女子	RW	リカーブ男子	RM	リカーブU21女子	RU21W	リカーブU21男子	RU21M	リカーブ50+女子	R50W	リカーブ50+男子	R50M	リカーブU18女子	RU18W	リカーブU18男子	RU18M	コンパウンド				コンパウンド女子	CW	コンパウンド男子	CM	コンパウンドU21女子	CU21W	コンパウンドU21男子	CU21M	コンパウンド50+女子	C50W	コンパウンド50+男子	C50M	コンパウンドU18女子	CU18W	コンパウンドU18男子	CU18M	パラリカーブ				リカーブ女子オープン	RWO	リカーブ男子オープン	RMO	パラコンパウンド				コンパウンド女子オープン	CWO	コンパウンド男子オープン	CMO	W1オープン				女子W1オープン(RC/CP)	WW1	男子W1オープン(RC/CP)	MW1	視覚障害				視覚障害1	V1	視覚障害2/3	V2/3	ベアボウ				ベアボウ女子	BW	ベアボウ男子	BM	ベアボウU21女子	BU21W	ベアボウU21男子	BU21M	ベアボウU18女子	BU18W	ベアボウU18男子	BU18M	ロングボウ および トラディショナル				ロングボウ女子	LW	ロングボウ男子	LM	トラディショナル女子	TW	トラディショナル男子	TM	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">リカーブ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リカーブ女子</td> <td>RW</td> <td>リカーブ男子</td> <td>RM</td> </tr> <tr> <td>リカーブU21女子</td> <td>RU21W</td> <td>リカーブU21男子</td> <td>RU21M</td> </tr> <tr> <td>リカーブ50+女子</td> <td>R50W</td> <td>リカーブ50+男子</td> <td>R50M</td> </tr> <tr> <td>リカーブU18女子</td> <td>RU18W</td> <td>リカーブU18男子</td> <td>RU18M</td> </tr> <tr> <td>リカーブU15女子</td> <td>RU15W</td> <td>リカーブU15男子</td> <td>RU15M</td> </tr> <tr> <th colspan="4">コンパウンド</th> </tr> <tr> <td>コンパウンド女子</td> <td>CW</td> <td>コンパウンド男子</td> <td>CM</td> </tr> <tr> <td>コンパウンドU21女子</td> <td>CU21W</td> <td>コンパウンドU21男子</td> <td>CU21M</td> </tr> <tr> <td>コンパウンド50+女子</td> <td>C50W</td> <td>コンパウンド50+男子</td> <td>C50M</td> </tr> <tr> <td>コンパウンドU18女子</td> <td>CU18W</td> <td>コンパウンドU18男子</td> <td>CU18M</td> </tr> <tr> <td>コンパウンドU15女子</td> <td>CU15W</td> <td>コンパウンドU15男子</td> <td>CU15M</td> </tr> <tr> <th colspan="4">パラリカーブ</th> </tr> <tr> <td>リカーブ女子オープン</td> <td>RWO</td> <td>リカーブ男子オープン</td> <td>RMO</td> </tr> <tr> <th colspan="4">パラコンパウンド</th> </tr> <tr> <td>コンパウンド女子オープン</td> <td>CWO</td> <td>コンパウンド男子オープン</td> <td>CMO</td> </tr> <tr> <th colspan="4">W1オープン</th> </tr> <tr> <td>女子W1オープン(RC/CP)</td> <td>WW1</td> <td>男子W1オープン(RC/CP)</td> <td>MW1</td> </tr> <tr> <th colspan="4">視覚障害</th> </tr> <tr> <td>視覚障害1</td> <td>V1</td> <td>視覚障害2/3</td> <td>V2/3</td> </tr> <tr> <th colspan="4">ベアボウ</th> </tr> <tr> <td>ベアボウ女子</td> <td>BW</td> <td>ベアボウ男子</td> <td>BM</td> </tr> <tr> <td>ベアボウU21女子</td> <td>BU21W</td> <td>ベアボウU21男子</td> <td>BU21M</td> </tr> <tr> <td>ベアボウU18女子</td> <td>BU18W</td> <td>ベアボウU18男子</td> <td>BU18M</td> </tr> <tr> <td>ベアボウU15女子</td> <td>BU15W</td> <td>ベアボウU15男子</td> <td>BU15M</td> </tr> <tr> <th colspan="4">ロングボウ および トラディショナル</th> </tr> <tr> <td>ロングボウ女子</td> <td>LW</td> <td>ロングボウ男子</td> <td>LM</td> </tr> <tr> <td>トラディショナル女子</td> <td>TW</td> <td>トラディショナル男子</td> <td>TM</td> </tr> </tbody> </table>	リカーブ				リカーブ女子	RW	リカーブ男子	RM	リカーブU21女子	RU21W	リカーブU21男子	RU21M	リカーブ50+女子	R50W	リカーブ50+男子	R50M	リカーブU18女子	RU18W	リカーブU18男子	RU18M	リカーブU15女子	RU15W	リカーブU15男子	RU15M	コンパウンド				コンパウンド女子	CW	コンパウンド男子	CM	コンパウンドU21女子	CU21W	コンパウンドU21男子	CU21M	コンパウンド50+女子	C50W	コンパウンド50+男子	C50M	コンパウンドU18女子	CU18W	コンパウンドU18男子	CU18M	コンパウンドU15女子	CU15W	コンパウンドU15男子	CU15M	パラリカーブ				リカーブ女子オープン	RWO	リカーブ男子オープン	RMO	パラコンパウンド				コンパウンド女子オープン	CWO	コンパウンド男子オープン	CMO	W1オープン				女子W1オープン(RC/CP)	WW1	男子W1オープン(RC/CP)	MW1	視覚障害				視覚障害1	V1	視覚障害2/3	V2/3	ベアボウ				ベアボウ女子	BW	ベアボウ男子	BM	ベアボウU21女子	BU21W	ベアボウU21男子	BU21M	ベアボウU18女子	BU18W	ベアボウU18男子	BU18M	ベアボウU15女子	BU15W	ベアボウU15男子	BU15M	ロングボウ および トラディショナル				ロングボウ女子	LW	ロングボウ男子	LM	トラディショナル女子	TW	トラディショナル男子	TM
リカーブ																																																																																																																																																																																																																								
リカーブ女子	RW	リカーブ男子	RM																																																																																																																																																																																																																					
リカーブU21女子	RU21W	リカーブU21男子	RU21M																																																																																																																																																																																																																					
リカーブ50+女子	R50W	リカーブ50+男子	R50M																																																																																																																																																																																																																					
リカーブU18女子	RU18W	リカーブU18男子	RU18M																																																																																																																																																																																																																					
コンパウンド																																																																																																																																																																																																																								
コンパウンド女子	CW	コンパウンド男子	CM																																																																																																																																																																																																																					
コンパウンドU21女子	CU21W	コンパウンドU21男子	CU21M																																																																																																																																																																																																																					
コンパウンド50+女子	C50W	コンパウンド50+男子	C50M																																																																																																																																																																																																																					
コンパウンドU18女子	CU18W	コンパウンドU18男子	CU18M																																																																																																																																																																																																																					
パラリカーブ																																																																																																																																																																																																																								
リカーブ女子オープン	RWO	リカーブ男子オープン	RMO																																																																																																																																																																																																																					
パラコンパウンド																																																																																																																																																																																																																								
コンパウンド女子オープン	CWO	コンパウンド男子オープン	CMO																																																																																																																																																																																																																					
W1オープン																																																																																																																																																																																																																								
女子W1オープン(RC/CP)	WW1	男子W1オープン(RC/CP)	MW1																																																																																																																																																																																																																					
視覚障害																																																																																																																																																																																																																								
視覚障害1	V1	視覚障害2/3	V2/3																																																																																																																																																																																																																					
ベアボウ																																																																																																																																																																																																																								
ベアボウ女子	BW	ベアボウ男子	BM																																																																																																																																																																																																																					
ベアボウU21女子	BU21W	ベアボウU21男子	BU21M																																																																																																																																																																																																																					
ベアボウU18女子	BU18W	ベアボウU18男子	BU18M																																																																																																																																																																																																																					
ロングボウ および トラディショナル																																																																																																																																																																																																																								
ロングボウ女子	LW	ロングボウ男子	LM																																																																																																																																																																																																																					
トラディショナル女子	TW	トラディショナル男子	TM																																																																																																																																																																																																																					
リカーブ																																																																																																																																																																																																																								
リカーブ女子	RW	リカーブ男子	RM																																																																																																																																																																																																																					
リカーブU21女子	RU21W	リカーブU21男子	RU21M																																																																																																																																																																																																																					
リカーブ50+女子	R50W	リカーブ50+男子	R50M																																																																																																																																																																																																																					
リカーブU18女子	RU18W	リカーブU18男子	RU18M																																																																																																																																																																																																																					
リカーブU15女子	RU15W	リカーブU15男子	RU15M																																																																																																																																																																																																																					
コンパウンド																																																																																																																																																																																																																								
コンパウンド女子	CW	コンパウンド男子	CM																																																																																																																																																																																																																					
コンパウンドU21女子	CU21W	コンパウンドU21男子	CU21M																																																																																																																																																																																																																					
コンパウンド50+女子	C50W	コンパウンド50+男子	C50M																																																																																																																																																																																																																					
コンパウンドU18女子	CU18W	コンパウンドU18男子	CU18M																																																																																																																																																																																																																					
コンパウンドU15女子	CU15W	コンパウンドU15男子	CU15M																																																																																																																																																																																																																					
パラリカーブ																																																																																																																																																																																																																								
リカーブ女子オープン	RWO	リカーブ男子オープン	RMO																																																																																																																																																																																																																					
パラコンパウンド																																																																																																																																																																																																																								
コンパウンド女子オープン	CWO	コンパウンド男子オープン	CMO																																																																																																																																																																																																																					
W1オープン																																																																																																																																																																																																																								
女子W1オープン(RC/CP)	WW1	男子W1オープン(RC/CP)	MW1																																																																																																																																																																																																																					
視覚障害																																																																																																																																																																																																																								
視覚障害1	V1	視覚障害2/3	V2/3																																																																																																																																																																																																																					
ベアボウ																																																																																																																																																																																																																								
ベアボウ女子	BW	ベアボウ男子	BM																																																																																																																																																																																																																					
ベアボウU21女子	BU21W	ベアボウU21男子	BU21M																																																																																																																																																																																																																					
ベアボウU18女子	BU18W	ベアボウU18男子	BU18M																																																																																																																																																																																																																					
ベアボウU15女子	BU15W	ベアボウU15男子	BU15M																																																																																																																																																																																																																					
ロングボウ および トラディショナル																																																																																																																																																																																																																								
ロングボウ女子	LW	ロングボウ男子	LM																																																																																																																																																																																																																					
トラディショナル女子	TW	トラディショナル男子	TM																																																																																																																																																																																																																					

条	項	号	2022～2023年版(旧)	2024～2025年版(新)
111	1	1	イリミネーションラウンドは予選ラウンド(クォリフィケーションラウンド)の上位104名が出場し、その順位に従ってマッチプレイチャートに割り付ける(付則1:マッチプレイチャート参照)。競技者は、グループに分かれて一連のマッチを行い、各マッチは、リカーブおよびベアボウでは3射5セットで、コンパウンドでは3射5エンドで行う。ただし、予選ラウンドの通過者の人数を制限することができる。	イリミネーションラウンドは予選ラウンド(クォリフィケーションラウンド)の上位104名が出場し、その順位に従ってマッチプレイチャートに割り付ける(付則1:マッチプレイチャート参照)。競技者は、グループに分かれて一連のマッチを行い、各マッチは、リカーブおよびベアボウでは3射5セットで、コンパウンドおよびW1では3射5エンドで行う。ただし、予選ラウンドの通過者の人数を制限することができる。
111		2	個人戦ファイナルラウンドは、イリミネーションラウンドを勝ち残った上位8名が参加し、各マッチは、リカーブおよびベアボウでは3射5セットで、コンパウンドでは3射5エンドで行う。ただし、予選ラウンドの通過者を4名としてイリミネーションラウンドおよびファイナルラウンドの1/4ファイナルを省略することができる。競技者は、1射ずつ交互に行射する。ただし、同時行射とすることもできる。	個人戦ファイナルラウンドは、イリミネーションラウンドを勝ち残った上位8名が参加し、各マッチは、リカーブおよびベアボウでは3射5セットで、コンパウンドおよびW1では3射5エンドで行う。ただし、予選ラウンドの通過者を4名としてイリミネーションラウンドおよびファイナルラウンドの1/4ファイナルを省略することができる。競技者は、1射ずつ交互に行射する。ただし、同時行射とすることもできる。
111		3	団体戦イリミネーションラウンドは予選ラウンドの3名の得点合計の順位により、上位24チームが出場し、その順位に従ってマッチプレイチャートに割り付ける(付則1:図14マッチプレイチャート5参照)。ただし、予選ラウンドを通過するチーム数を16チームとして1/16イリミネーションラウンドを省略、あるいは通過するチーム数を8チームとして1/8イリミネーションラウンドを省略、あるいは通過するチーム数を4チームとして1/4イリミネーションラウンドを省略することができる。各マッチは、リカーブおよびベアボウでは6射(各競技者が2射)4セットで、コンパウンドでは6射(各競技者2射)4エンドの合計得点制で行う。	団体戦イリミネーションラウンドは予選ラウンドの3名の得点合計の順位により、上位24チームが出場し、その順位に従ってマッチプレイチャートに割り付ける(付則1:図14マッチプレイチャート5参照)。ただし、予選ラウンドを通過するチーム数を16チームとして1/16イリミネーションラウンドを省略、あるいは通過するチーム数を8チームとして1/8イリミネーションラウンドを省略、あるいは通過するチーム数を4チームとして1/4イリミネーションラウンドを省略することができる。各マッチは、リカーブおよびベアボウでは6射(各競技者が2射)4セットで、コンパウンドおよびW1では6射(各競技者2射)4エンドの合計得点制で行う。
111		4		パラアーチェリーのダブルスイリミネーションラウンドは予選ラウンドの2名の得点合計の順位により、上位24チームが出場し、その順位に従ってマッチプレイチャートに割り付ける(付則1:図14マッチプレイチャート5参照)。各マッチは、リカーブオープンでは4射(各競技者が2射)4セットで、コンパウンドオープンおよびW1では4射(各競技者2射)4エンドの合計得点制で行う。
111		5	団体戦ファイナルラウンドはイリミネーションラウンドを勝ち残った4チームが参加し、各マッチは、リカーブおよびベアボウでは6射(各競技者が2射)4セットで、コンパウンドでは6射(各競技者2射)4エンドの合計得点制で行う。交互射ちでは、チームは3射(1人1射)した後、相手チームと交代する。交互射ちの実施は、主催者の判断による。時間は、競技者が1mラインを横切った時に、開始・停止する。	団体戦ファイナルラウンドはイリミネーションラウンドを勝ち残った4チームが参加し、各マッチは、リカーブおよびベアボウでは6射(各競技者が2射)4セットで、コンパウンドおよびW1では6射(各競技者2射)4エンドの合計得点制で行う。交互射ちでは、チームは3射(1人1射)した後、相手チームと交代する。交互射ちの実施は、主催者の判断による。時間は、競技者が1mラインを横切った時に、開始・停止する。
111		6		パラアーチェリーのダブルスファイナルラウンドはイリミネーションラウンドを勝ち残った4チームが参加し、各マッチは、リカーブオープンでは4射(各競技者が2射)4セットで、コンパウンドオープンおよびW1では4射(各競技者2射)4エンドの合計得点制で行う。交互射ちでは、ダブルスは2射(1人1射)した後、相手チームと交代する。交互射ちの実施は、主催者の判断による。W1は、第221条3項参照。
111		7	ミックス団体戦は、予選ラウンドの合計得点の順位により、同一チームに所属する男女の最上位者で構成する24チームが出場し、その順位に従ってマッチプレイチャートに割り付ける(付則1:図14マッチプレイチャート5参照)。ただし、予選ラウンドを通過するチーム数を16チームとして1/16イリミネーションラウンドを省略、あるいは通過するチーム数を8チームとして1/8イリミネーションラウンドを省略、あるいは通過するチーム数を4チームとして1/4イリミネーションラウンドを省略することができる。各マッチは、リカーブおよびベアボウでは4射(各競技者が2射)4セットで、コンパウンドでは4射(各競技者2射)4エンドの合計得点制で行う。	ミックス団体戦は、予選ラウンドの合計得点の順位により、同一チームに所属する男女の最上位者で構成する24チームが出場し、その順位に従ってマッチプレイチャートに割り付ける(付則1:図14マッチプレイチャート5参照)。ただし、予選ラウンドを通過するチーム数を16チームとして1/16イリミネーションラウンドを省略、あるいは通過するチーム数を8チームとして1/8イリミネーションラウンドを省略、あるいは通過するチーム数を4チームとして1/4イリミネーションラウンドを省略することができる。各マッチは、リカーブおよびベアボウでは4射(各競技者が2射)4セットで、コンパウンドおよびW1では4射(各競技者2射)4エンドの合計得点制で行う。
111		8	リカーブでは、この競技は「オリンピックラウンド」といい、距離70m(U18および50+は60m)で122cm標的面を使用して行い、コンパウンドでは、「コンパウンドマッチラウンド」といい、距離50mで80cm6リング標的面を使用して行う。ベアボウでは、「ベアボウマッチラウンド」といい、距離50mで122cm標的面を使用して行う。	リカーブでは、この競技は「オリンピックラウンド」といい、距離70m(U18および50+は60m)で122cm標的面を使用して行い、コンパウンドでは、「コンパウンドマッチラウンド」といい、距離50mで80cm6リング標的面を使用して行う。ベアボウでは、「ベアボウマッチラウンド」といい、距離50mで122cm標的面を使用して行う。 W1は、第221条3項参照。
111		9	チームは、予選ラウンドの上位3名の競技者(ミックス団体戦は2名)で構成する。ただし、チームの監督はそのラウンドの練習15分前までに記録担当の競技役員または審判長に書面で通知することにより、予選ラウンドに出場した他の競技者と交代させることができる。これに違反したチームは失格となる。メダルは、予選ラウンドではなく、団体戦に出場した競技者のみに授与する。	チームは、予選ラウンドの上位3名の競技者(ミックス団体、 ダブルスは2名)で構成する。ただし、チームの監督はそのラウンドの練習15分前までに記録担当の競技役員または審判長に書面で通知することにより、予選ラウンドに出場した他の競技者と交代させることができる。これに違反したチームは失格となる。メダルは、予選ラウンドではなく、団体戦、 ミックス団体戦、ダブルス団体戦 に出場した競技者のみに授与する。

条 項 号	2022～2023年版(旧)	2024～2025年版(新)
111	7	リカーブU15の40mラウンドは、距離40mで122cm標的面を使用し、72射する。
111	8	コンパウンドU15の40mラウンドは、距離40mで80cm標的面を使用し、72射する。
111	9	バアボウU15の30mラウンドは、距離30mで122cm標的面を使用し、72射する。
111	10	視覚障害者ラウンドは、第2部第19章パラアーチェリー参照。
113	2 2	イリミネーションラウンドは、プールごとの対戦の勝ち上がりによって行う。予選ラウンドの1位と2位の競技者は自動的に準決勝戦に進む。3～22位の競技者は5名ずつの4つのプールで対戦を行い、残り2名の準決勝進出者を決定する。ただし、予選ラウンドの通過者を制限することができる。または通過者を4名としてイリミネーションラウンドを省略することができる。
113	2 3	各プールの1回戦は、そのプールの最下位の2名の競技者が対戦する。6標的を射撃した時点で最高得点の競技者が次の対戦に進み、そのプールの次の競技者と対戦する。
113	2 5	プールAの勝者はプールBの勝者と、プールCの勝者はプールDの勝者と対戦し、準決勝戦への進出者を決定する。(その下にプールの表あり)
113	2 5	イリミネーションラウンドの対戦は、6標的で行う。マークの標的を使用し、競技者は同時に行射する。 a イリミネーションで2つの対戦(4名の競技者)が一つのグループで同じ標的を射撃する場合、 ・対戦は常にプールのアルファベット順に行射する。例えば、プールBとプールDが同じグループの場合、プールBの対戦が先に射撃する。 ・U21と一般の競技者が同じグループにいる場合、一般の競技者が先に射撃する。
113	2 6	競技者が22名より少ない場合、全員がイリミネーションラウンドに進み、プールに振り分けられる。
113	2 7	a 準決勝戦では、プールABの勝者(競技者AB)が2位の競技者と、プールCDの勝者(競技者CD)が1位の競技者と対戦する。対戦の勝者はゴールドメダルマッチに、敗者はブロンズメダルマッチに進む。準決勝戦において、4名の競技者が一つのグループで射撃する場合、競技者ABと2位の競技者の対戦がすべての標的で行射し、もう1組の対戦が2組目として射撃する。メダルファイナルでは、ブロンズメダルマッチの対戦がすべての標的で行射し、その後ゴールドメダルマッチの射撃を行う。
113	2 11	フィールドミックス団体戦イリミネーションラウンド
113	2 11	a ミックス団体戦イリミネーションラウンドは、各種別の上位4チームが準決勝戦のマークコース4標的を射撃する。
113	2 11	b チームは予選ラウンドの合計得点(最上位者)によりマッチプレイチャートに割り付けられる。チームの構成に関しては、チームの監督が決定する。
113	2 11	c ミックス団体戦のチームは、同じ部門の男女で構成する。
113	2 11	d フィールドミックス団体戦では、各競技者が2射する。
113	2 11	(新規追加) e ミックス団体戦ファイナルラウンドは、各種別の勝ち上がった4チーム(準決勝戦)が出場する。それぞれのマッチは、新たなマーク4標的で行う。
114	2 2	イリミネーションラウンドは、プールごとの対戦の勝ち上がりによって行う。予選ラウンドの1位と2位の競技者は自動的に準決勝戦に進む。3～22位の競技者は5名ずつの4つのプールで対戦を行い、残り2名の準決勝進出者を決定する。
114	2 3	各プールの1回戦は、そのプールの最下位の2名の競技者が対戦する。6標的を射撃した時点で最高得点の競技者が次の対戦に進み、そのプールの次の競技者と対戦する。 a 各ラウンドの対戦終了後、その部門は別のイリミネーションラウンドのコースに進む。

条	項	号	2022～2023年版(旧)	2024～2025年版(新)														
114	2	4	プールAの勝者はプールBの勝者と、プールCの勝者はプールDの勝者と対戦し、準決勝戦への進出者を決定する。 (その下にプールの表あり)	削除、以下繰り上げ														
114	2	4	イリミネーションラウンドの対戦は、6標的で行う。アンマークの標的を使用し、競技者は同時に行射する。	イリミネーションラウンドの対戦は、6標的で行う。アンマークの標的を使用し、競技者は同時に行射する。 イリミネーションで同じカテゴリーの2つの対戦(4名の競技者)が一つのグループで同じ標的を行射する場合、対戦は常に高順位の競技者が先に行射する。														
114	2	5	競技者が22名より少ない場合、全員がイリミネーションラウンドに進み、プールに振り分けられる。	競技者が規定された予選通過人数より少ない場合、全員がイリミネーションラウンドに進む。														
114	2	6	a 準決勝戦では、プールABの勝者(競技者AB)が2位の競技者と、プールCDの勝者(競技者CD)が1位の競技者と対戦する。対戦の勝者はゴールドメダルマッチに、敗者はブロンズメダルマッチに進む。準決勝戦において、4名の競技者が一つのグループで行射する場合、競技者ABと2位の競技者の対戦がすべての標的で行射し、もう1組の対戦が2組目として行射する。メダルファイナルでは、ブロンズメダルマッチの対戦がすべての標的で行射し、その後ゴールドメダルマッチの行射を行う。	a 準決勝戦では、4名の競技者が一つのグループで行射する場合、高順位の競技者を含む組がすべての標的で行射し、もう1組の対戦が2組目として行射する。メダルファイナルでは、ブロンズメダルマッチの対戦がすべての標的で行射し、その後ゴールドメダルマッチの行射を行う。														
114	2	7	団体戦イリミネーションラウンド(準々決勝戦)は、各種別の2回の予選ラウンドを通過した上位8チームが8標的を行射する。チームは、コンパウンド、ロングボウ、およびトラディショナルまたはベアボウからの各1名の競技者で構成する。チーム順位は、各カテゴリーの第2予選ラウンド後の最高得点競技者による(トラディショナルおよびベアボウの両部門で競技している場合、最高得点部門が対象となる)。	団体戦イリミネーションラウンド(準々決勝戦)は、各種別の2回の予選ラウンドを通過した上位8チームが8標的を行射する。チームは、コンパウンド、ロングボウ、トラディショナル、ベアボウからの各1名の競技者で構成する。チーム順位は、各カテゴリーの第2予選ラウンド後の最高得点競技者による。														
114	2	9	3Dミックス団体戦	ミックス団体戦イリミネーションラウンドおよびファイナルラウンド														
114	2	9	a ミックス団体戦イリミネーションラウンドは、各種別の上位4チームが準決勝戦のアンマークコース4標的を行射する。	a ミックス団体戦のチームは、同じ部門の男女で構成する。														
114	2	9	b チームは予選ラウンドの合計得点(最上位者)によりマッチプレイングチャートに割り付けられる。チームの構成に関しては、チームの監督が決定する。	b ミックス団体戦では、各競技者が2射する。														
114	2	9	c ミックス団体戦のチームは、同じ部門の男女で構成する。	c チームは予選ラウンドの合計得点(最上位者)によりマッチプレイングチャートに割り付けられる。チームの構成に関しては、チームの監督が決定する。														
114	2	9	d フィールドミックス団体戦では、各競技者が2射する。	d ミックス団体戦のチームは、スコアカードに記載された左/右の位置に立つ。														
114	2	9	(新規追加)	e ミックス団体戦イリミネーションラウンドは、各種別の上位8チームが準決勝戦のアンマークコース4標的を行射する。														
114	2	9	(新規追加)	f ミックス団体戦ファイナルラウンドは、各種別の勝ち上がった4チームが準決勝戦のアンマークコース4標的を行射する。 それぞれのマッチは、新たなアンマーク4標的で行う。														
122	2		本連盟で管理する公認記録は日本記録・日本U21記録・日本U18記録・日本国際記録とする。	本連盟で管理する公認記録は日本記録・日本U21記録・日本U18記録・ 日本50+記録 ・日本国際記録とする。														
123	1			アウトドア リカーブ (60mmラウンド) <table border="1"> <thead> <tr> <th>バッジの色</th> <th>ホワイト</th> <th>ブラック</th> <th>ブルー</th> <th>レッド</th> <th>ゴールド</th> <th>パープル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>得点</td> <td>500点</td> <td>550点</td> <td>600点</td> <td>650点</td> <td>675点</td> <td>700点</td> </tr> </tbody> </table>	バッジの色	ホワイト	ブラック	ブルー	レッド	ゴールド	パープル	得点	500点	550点	600点	650点	675点	700点
バッジの色	ホワイト	ブラック	ブルー	レッド	ゴールド	パープル												
得点	500点	550点	600点	650点	675点	700点												
124	3		標的はアウトドアでは10度から15度、インドアでは垂直から15度後傾までの任意の角度で設置する。ただし、1列に並べられた標的は、すべて同じ角度とする。	標的はアウトドアでは10度から15度、インドアでは垂直から 10度 後傾までの任意の角度で設置する。ただし、1列に並べられた標的は、すべて同じ角度とする。														
125	4	1	ラウンドおよび標的面 インドアマッチラウンドでは、40cm三つ目標的面を使用する。イリミネーションラウンドおよびファイナルラウンドでは、各標的に1対の標的面を設置する。世界アーチェリーインドア選手権大会では、縦三つ目標的面が必須である。他のすべての競技会では、単一標的面または三つ目標的面の使用は、主催者の選択による。同じ種別および部門の競技者は同一の標的面を行射する。	ラウンドおよび標的面 インドアマッチラウンドでは、40cm三つ目標的面を使用する。イリミネーションラウンドおよびファイナルラウンドでは、各標的に1対の標的面を設置する。単一標的面または三つ目標的面の使用は、主催者の選択による。同じ種別および部門の競技者は同一の標的面を行射する。														
125	6	4	オリンピックラウンド、コンパウンドマッチラウンド、ベアボウマッチラウンドおよびインドアマッチラウンドでは、個人戦では競技者の氏名または競技者番号を表示し、団体戦ではチーム名を記載したボードをシューティングラインの前方に設置する。	削除、以下繰り上げ														

条 項 号	2022～2023年版(旧)		2024～2025年版(新)	
126	1	8	<p>バットは、得点帯にある矢がすべてバット内に残る余裕を持たせる。標的面のどの部分も、地面から15cm以下となつてはならない。</p> <p>バットは、どのような地形であっても、競技者が行射しやすくなるために標的の全面が見えるようにし、シューティングペグからの競技者の視線に対して直角に設置する。</p>	<p>バットおよび標的面は以下の通りとする。</p> <p>a バットは、得点帯にある矢がすべてバット内に残る余裕を持たせる。</p> <p>b 標的面のどの部分も、地面から15cm未満となつてはならない。</p> <p>c バットは、どのような地形であっても、競技者が行射しやすくなるために標的の全面が見えるようにし、シューティングペグからの競技者の視線に対して直角に設置する。</p> <p>d つねに全得点帯が150センチの高さから見えること。</p>
202	7	1	<p>矢は、ヘッド(ポイント)の付いたシャフト、ノック、および羽根とからなり、クレストを付けてもよい。シャフトの最大直径は9.3mm(アローラップが使用される場合、その長さがノックの溝から計測して22cm以内であれば、この制限に該当しない)を超えてはならない。シャフトの直径が9.3mmの場合、そのポイントの最大直径は9.4mmあつてもよい。各競技者の矢には、シャフトに競技者の名前またはイニシャルを書き、同じエンドで使用すべての矢は、同じ色のシャフト、同じ形状および色の組み合わせの羽根、同じ色のノックとし、クレストを付ける時には同じ色の組み合わせの模様とする。曳光ノック(電気、電子的に発光するノック)は使用することができない。</p>	<p>矢は、ヘッド(ポイント)の付いたシャフト、ノック、および羽根とからなり、クレストを付けてもよい。シャフトの最大直径は9.3mm(アローラップが使用される場合、その長さがノックの溝から計測して22cm以内であれば、この制限に該当しない)を超えてはならない。矢のポイントの直径は、9.4mmを超えてはならない。各競技者の矢には、シャフトに競技者の名前またはイニシャルを書き、同じエンドで使用すべての矢は、同じ色のシャフト、同じ形状および色の組み合わせの羽根、同じ色のノックとし、クレストを付ける時には同じ色の組み合わせの模様とする。曳光ノック(電気、電子的に発光するノック)は使用することができない。</p>
204	7	1	<p>矢は、ヘッド(ポイント)の付いたシャフト、ノック、および羽根とからなり、クレストを付けてもよい。シャフトの最大直径は9.3mm(アローラップが使用される場合、その長さがノックの溝から計測して22cm以内であれば、この制限に該当しない)を超えてはならない。シャフトの直径が9.3mmの場合、そのポイントの最大直径は9.4mmあつてもよい。各競技者の矢には、シャフトに競技者の名前またはイニシャルを書き、同じエンドで使用すべての矢は、同じ色のシャフト、同じ形状および色の組み合わせの羽根、同じ色のノックとし、クレストを付ける時には同じ色の組み合わせの模様とする。曳光ノック(電気、電子的に発光するノック)は使用することができない。</p>	<p>矢は、ヘッド(ポイント)の付いたシャフト、ノック、および羽根とからなり、クレストを付けてもよい。シャフトの最大直径は9.3mm(アローラップが使用される場合、その長さがノックの溝から計測して22cm以内であれば、この制限に該当しない)を超えてはならない。矢のポイントの直径は、9.4mmを超えてはならない。各競技者の矢には、シャフトに競技者の名前またはイニシャルを書き、同じエンドで使用すべての矢は、同じ色のシャフト、同じ形状および色の組み合わせの羽根、同じ色のノックとし、クレストを付ける時には同じ色の組み合わせの模様とする。曳光ノック(電気、電子的に発光するノック)は使用することができない。</p>
206	1		<p>● 長距離、オリンピックラウンドおよびコンパウンドマッチラウンドの予選ラウンドでは6本。</p>	<p>● 長距離、オリンピックラウンド、コンパウンドマッチラウンドおよびペアボウマッチラウンドの予選ラウンドでは6本。</p>
206	2	3	<p>競技会中(予選ラウンドの間)審判員によって確認された用具故障、医師等によって確認された医学的な問題が発生した場合、修理、交換、快復に必要な特別時間が与えられる。医学的問題については、競技者が競技を続けるかどうかを医師等が判断する。</p> <p>ただし、補充矢を行射する時間は最大15分(通常の手順および行射時間による)もしくは、エンド数でアウトドアでは6本の2エンド、インドアでは3本の3エンドとし、どちらかの方法で行う。</p> <p>競技者は、最も早い機会に所定の本数を審判員立ち会いのもとで行射する。</p> <p>なお、ワールドラングイベント、あるいは、海外総合競技大会においては、用具故障、医学的問題による特別時間は与えられない。</p>	<p>競技会中(予選ラウンドの間)審判員によって確認された用具故障、医師等によって確認された医学的な問題が発生した場合、修理、交換、快復に必要な特別時間が与えられる。医学的問題については、競技者が競技を続けるかどうかを医師等が判断する。</p> <p>ただし、補充矢を行射する時間は最大15分(通常の手順および行射時間による)もしくは、エンド数でアウトドアでは6本の2エンド、インドアでは3本の3エンドとし、どちらか早く完了する方法で行う。競技者は、最も早い機会に所定の本数を審判員立ち会いのもとで行射する。なお、ワールドラングイベント、あるいは、海外総合競技大会においては、用具故障、医学的問題による特別時間は与えられない。</p>
206	2	4	<p>オリンピックラウンドのイリミネーションラウンドおよびフィナルラウンド、コンパウンドマッチラウンド、ペアボウマッチラウンドおよびインドアマッチラウンドでは用具故障、医学的問題による特別時間は与えられない。</p> <p>しかし、用具の故障があつた競技者は、制限時間の範囲内で、シューティングラインを離れて修理または交換を行い、戻って残りの矢を行射することができる。団体戦では、その間に、そのチームの他のメンバーが行射することができる。</p>	<p>オリンピックラウンドのイリミネーションラウンドおよびフィナルラウンド、コンパウンドマッチラウンド、ペアボウマッチラウンドおよびインドアマッチラウンドでは用具故障、医学的問題による特別時間は与えられない。</p> <p>しかし、用具の故障があつた競技者は、制限時間の範囲内で、シューティングラインを離れて修理または交換を行い、戻って残りの矢を行射することができる。団体戦では、その間に、そのチームの他のメンバーが行射することができる。</p>
207	2	1a	<p>個人戦のイリミネーションラウンドでは行射する競技者の左右の位置は付則1のオリンピックラウンド個人戦マッチプレイチャートのとおりとする。競技会におけるそれぞれのラウンドの標的の配置は主催者の選択による。</p>	<p>個人戦のイリミネーションラウンドおよびフィナルラウンドでは、付則1のオリンピックラウンド個人戦マッチプレイチャート上で上部に記載された競技者が左側で行射する。競技会におけるそれぞれのラウンドの標的の配置は主催者の選択による。</p>
207	3	1	<p>i 交互射ちの個人戦、団体戦及びミックス戦の場合は、シュートオフも含めて、1射につき20秒とする。</p> <p>ii 予選ラウンド、交互射ちではないオリンピックラウンド、コンパウンドマッチラウンド、ペアボウマッチラウンドおよびインドアマッチラウンドにおける個人戦の場合は、シュートオフも含めて、1射につき30秒とする。ただし、要項等にあらかじめ記載することによって1射につき40秒とすることができる。</p> <p>iii パラアーチェリーの個人戦においては、10秒加算する。</p>	<p>a 交互射ちの個人戦、団体戦及びミックス戦の場合は、シュートオフも含めて、1射につき20秒とする。</p> <p>b 予選ラウンド、交互射ちではないオリンピックラウンド、コンパウンドマッチラウンド、ペアボウマッチラウンドおよびインドアマッチラウンドにおける個人戦の場合は、シュートオフも含めて、1射につき30秒とする。ただし、要項等にあらかじめ記載することによって1射につき40秒とすることができる。</p> <p>c パラアーチェリーの個人戦においては、10秒加算する。</p>

条 項 号	2022～2023年版(旧)	2024～2025年版(新)
207 3 1	b その他のすべての競技会 2023年3月1日までは下記の通りとする。それ以降については、改めて通達する。 i 交互射ちの個人戦、団体戦及びミックス戦の場合は、シュートオフも含めて、1射につき20秒(パラアーチェリーでは30秒)とする。 ii 予選ラウンド、交互射ちではないオリンピックラウンド、コンパウンドマッチラウンド、ペアボウマッチラウンドおよびインドアママッチラウンドにおける個人戦の場合は、シュートオフも含めて、1射につき40秒とする。ただし、要項等にあらかじめ記載することによって1射につき30秒とすることもできる。	削除
207 4 3	全部の競技者が行射を終了し、シューティングライン上に誰もいなかった場合、直ちに交替または得点記録のための音響信号を与える。	全部の競技者が行射を終了し、シューティングライン上に誰もいなかった場合、 審判員が矢を射ち終わっていない競技者がいることを確認した場合を除いては 、交替または得点記録のための音響信号を与える。
208 1 3	スコアラーは、その矢を所有する競技者(またはエージェント)の呼称に従って、高い得点から順にスコアカードに記入する。その標的の他の競技者(またはエージェント)は、呼称される矢の得点を確認し、異議があるときは審判員を呼び、その審判員が最終判定を行う。	スコアラーは、その矢を所有する競技者(またはエージェント)の呼称に従って、高い得点から順にスコアカードに記入する。その標的の他の競技者(またはエージェント)は、呼称される矢の得点を確認し、それに 同意しない場合は 審判員を呼び、その審判員が最終判定を行う。
208 4 1b iii	手書きスコアカードが記録員に提出されるときに、合計点の記入がされていない場合、その競技者は得点を喪失する(個人、団体およびミックス団体のそれぞれに適用される)。	手書きスコアカードが記録員に提出されるときに、合計点の記入がされていない場合、その競技者は得点を喪失し、 次のステージには進むことが出来ない (個人、団体およびミックス団体のそれぞれに適用される)。
208 5 2	イリミネーションラウンドへの進出、マッチ戦の同点、または上位8名を決めるときに同点の場合(第1部総則:付則1マッチプレイチャートの図9:マッチプレイチャート1A、図10:マッチプレイチャート1Bまたは図14:マッチプレイチャート5を使用する場合)、シュートオフで同点を解消する(10点数、X数(またはインドアでは9点数)を考慮しない)。	イリミネーションラウンドへの進出、マッチ戦の同点、または上位8名 △ の進出を決めるとき(第1部総則:付則1マッチプレイチャートの図9:マッチプレイチャート1A、図10:マッチプレイチャート1Bまたは図14:マッチプレイチャート5を使用する場合)に同点の場合、シュートオフで これ を解消する(10点数、X数(またはインドアでは9点数)を考慮しない)。
208 5 2a	イリミネーションラウンドへの進出、または上位8名を決める場合の同点は、予選ラウンドの公式結果が発表され次第、最後の距離でシュートオフを行う。	イリミネーションラウンドへの進出、または上位8名 △ の進出を決める場合の同点は、予選ラウンドの公式結果が発表され次第、最後の距離でシュートオフを行う。
208 5 2a i	アウトドアでシュートオフを行う場合、標的の設置は以下のとおりとする。 ●個人戦のとき、行射はフィールド中央に近い、中立の標的を使用し、1競技者1標的とする。 ●コンパウンドでは、バットの中央に80cm-6リング標的面を設置する。 ●団体戦のとき、行射はフィールド中央の中立の標的を使用し、チーム毎に1標的に1枚標的の面、また、三角形に設置された3枚の80cmマルチ標的の面を使用する。マルチ標的の面を使用する場合、チームの各競技者がどの標的の面を行射するかを決定する。	アウトドアでシュートオフを行う場合、標的の設置は以下のとおりとする。 ●個人戦のとき、行射はフィールド中央に近い、中立の標的を使用し、1競技者1標的とする。コンパウンドでは、バットの中央に80cm-6リング標的の面を設置する。 ● 団体戦のシュートオフはフィールド中央の中立の標的を以下の通り設置する。 ○リカーブ、W1(パラ)はチーム毎に1標的に1枚の標的を使用する ○コンパウンド団体は三角形に設置された3枚の80cm-6リング標的の面を使用する。 ○コンパウンドミックス、パラのダブルスは、2枚の標的の面を水平に設置する。 ○複数の標的の面を使用する場合、チームの各競技者がどの標的の面を行射するかを決定する。
208 5 5a ii	インドアでシュートオフを行う場合、標的の設置は以下のとおりとする。 ●個人戦のとき、予選ラウンドと同じ位置(A、B、CまたはD)および同じ形式の標的(40cm 縦三つ目、40cm 三角三つ目、60cmの各標的)を行射する。もし、これが不可能な場合、1個またはそれ以上の練習時間を使用して、それぞれに最大2枚の標的の面を設置し、1標的に最大2名の競技者とする。 ●個人戦のとき、縦三つ目標的の面が使用されている場合、競技者は中段を行射する。 ●団体戦のとき、行射はチーム毎に1標的で行う。三角三つ目標的の面を使用する場合、下段中心の高さは床から130cmとする。縦三つ目標的の面を使用する場合、水平設置に設置する。チームの競技者は、各自がどの標的の面を行射するかを選択する(それぞれの標的面に1射)。	インドアでシュートオフを行う場合、標的の設置は以下のとおりとする。 ● 個人戦のとき、予選ラウンドで使用したものと同じ種類の標的の面(40cm 縦三つ目、40cm 三角三つ目、60cmの各標的の面)を使用し、シュートオフを行う。 ● 個人戦のとき、行射はフィールド中央に近い、中立の標的を使用し、1競技者1標的とする。但し、会場のスペースに制限のある場合は1標的に2枚の標的の面を左右に貼ることにより2人の競技者が行射することは可能とする。 ●個人戦のとき、縦三つ目標的の面が使用されている場合、競技者は中段を行射する。 ●団体戦のとき、行射はチーム毎に1標的で行う。三角三つ目標的の面を使用する場合、下段中心の高さは床から130cmとする。縦三つ目標的の面を使用する場合、水平設置に設置する。チームの競技者は、各自がどの標的の面を行射するかを選択する(それぞれの標的面に1射)。
214 1 1	予選ラウンドの期間中の毎日、最小20分間、最大45分間練習する時間を設けることができる。練習矢が抜かれることにより、練習は終了する。練習用の標的は各種別の最初に行射する距離に設置する。ただし、状況に応じて競技開始直前に必要最小限(4分等)の練習時間に変えることができる。オリンピックラウンドのイリミネーションラウンドおよびファイナルラウンドを行う日には、主催者は、それぞれの日の予定を勘案して、練習時間の長さを決めることができる。	予選ラウンドの期間中の毎日、最大45分間練習する時間を設けることができる。練習矢が抜かれることにより、練習は終了する。練習用の標的は各種別の最初に行射する距離に設置する。オリンピックラウンドのイリミネーションラウンドおよびファイナルラウンドを行う日には、主催者は、それぞれの日の予定を勘案して、練習時間の長さを決めることができる。
214 2	練習場は、個人戦のイリミネーションラウンドおよびファイナルラウンドには出場できないが、団体戦に出場する競技者のために、ファイナルラウンドの日まで使用できなければならない。	削除、以下繰り上げ

条	項	号	2022～2023年版(旧)	2024～2025年版(新)
214	3		DOSは、公式練習会場には、常に立ち会わなければならない。DOSは、適切な合図により、行射の開始と終了および矢取りを指示する。競技者は、終了合図の後に行射してはならない。この規則に違反する競技者は、ここでの練習を禁止する。	DOSは、公式練習会場には、常に立ち会わなければならない。DOSは、適切な合図により、行射の開始と終了および矢取りを指示する。競技者は、終了合図の後に行射してはならない。この規則に違反する競技者は、 公式練習会場での練習を禁止する。
215	5		下記各号に該当する事項について、競技者またはチームの監督は、競技委員長へ供託金5,000円を添えて異議申立をすることができる。	下記各号に該当する事項について、競技者またはチームの監督は、競技委員長へ異議申立をすることができる。
216	1		競技者またはチームの監督は、競技委員長または審判長の裁定に不服がある場合、第104条4項により上訴委員会に提訴することができる。	1.上訴委員会を設置している競技会においては、競技者またはチームの監督は、競技委員長または審判長の裁定に不服がある場合、第104条4項により上訴委員会に提訴することができる。上訴の際には供託金5,000円を添えて書面にて提訴するものとする。
216	2			2.上訴委員会の決定は最終判断であり、再上訴することは出来ない。
217	1	2	競技者はワンピース、スカート、キュロットスカート、ショートパンツ(競技者が腕を体側に沿って垂らして指を伸ばしたとき指先より短くしてはならない)、パンツを着用する。また、長袖あるいは半袖シャツ(両肩からそれぞれ体の前面と背中がカバーされ、フルドロの際、上半身を覆うもの)を着用する。	競技者はワンピース、スカート、キュロットスカート、ショートパンツ(競技者が腕を体側に沿って垂らして指を伸ばしたとき指先より短くしてはならない)、パンツを着用する。また、長袖あるいは半袖シャツ(両肩からそれぞれ体の前面と背中がカバーされ、フルドロの際、上半身を覆うもの)を着用する。
219	1		身体に障害のある競技者は、国際もしくは国内クラス分け委員により判定される。各競技者は、この判定により種別が決定され、発行される「クラス分けカード」がその競技者に許される補助用具を示す。	身体に障害のある競技者は、国際もしくは国内クラス分け委員により判定される。各競技者は、この判定により種別が決定され、発行される「クラス分けカード」がその競技者に許される 競技用補助具 を示す。
221	1		リカーブ 個人 ●女子オープン ●男子オープン ダブルス ●女子オープン ●男子オープン ミックス団体 ●リカーブオープン 用具規則は、ターゲットアーチェリーの規定と同じだが、第223条8項に規定するリリースエイドの使用を除く。	リカーブ部門 個人: ●女子オープン ●男子オープン ●女子U21オープン ●男子U21オープン ダブルス: ●女子オープン ●男子オープン ●女子U21オープン ●男子U21オープン 団体ミックス: ●リカーブオープン ●リカーブU21オープン 用具規則は、ターゲットアーチェリーの規定と同じ。
221	2		コンパウンド 個人 ●女子オープン ●男子オープン ダブルス ●女子オープン ●男子オープン ミックス団体 ●コンパウンドオープン 用具規則は、ターゲットアーチェリーの規定と同じだが、第223条8項に規定するリリースエイドの使用を除く。	コンパウンド部門 個人: ●女子オープン ●男子オープン ●女子U21オープン ●男子U21オープン ダブルス: ●女子オープン ●男子オープン ●女子U21オープン ●男子U21オープン 団体ミックス: ●コンパウンドオープン ●コンパウンドU21オープン 用具規則は、ターゲットアーチェリーの規定と同じ。

条	項	号	2022～2023年版(旧)	2024～2025年版(新)
221	3		<p>W1オープン 個人 ●女子W1オープン ●男子W1オープン ダブルス ●女子W1オープン ●男子W1オープン ミックス団体 ●W1オープン</p> <p>W1の種別では、リカーブまたはコンパウンドの弓を使用することができる。以下に挙げる特例を除いて、用具規定はターゲットアーチェリーの規定と同じである。 ・引き重量は、最大で45ポンドとする。 ・ビープサイトおよびスコップサイトの使用は認められない。 ・リップまたはノーズマークは1個のみ付けることができる。 ・水準器の使用は認められない。 ・リリースエイドは使用することができる。 W1 50m ラウンド、W1 マッチラウンド、W1 ダブルスおよびW1 ミックス団体戦ではすべてのラウンドで10個の得点帯のある全寸法の80cm 標的面を使用する。 ダブルスの時間の規定はミックス団体と同じである。</p>	<p>W1オープン部門: 個人: ●女子W1オープン ●男子W1オープン ●女子U21オープン ●男子U21オープン ダブルス: ●女子W1オープン ●男子W1オープン ●女子U21オープン ●男子U21オープン ミックス団体: ●W1オープン ●U21オープン</p> <p>W1の種別では、リカーブまたはコンパウンドの弓を使用することができる。以下に挙げる特例を除いて、用具規定はターゲットアーチェリーの規定と同じである。 ・引き重量は、最大で45ポンドとする。 ・ビープサイトおよびスコップサイトの使用は認められない。 ・リップまたはノーズマークは1個のみ付けることができる。 ・水準器の使用は認められない。 ・リリースエイドは使用することができる。 W1 50m ラウンド、W1 マッチラウンド、W1 ダブルスおよびW1 ミックス団体戦ではすべてのラウンドで10個の得点帯のある全寸法の80cm 標的面を使用する。 ダブルスの時間の規定はミックス団体と同じである。</p>
221	4		<p>視覚障害(VI) ●VI1 ●VI2-3 この種別には男女、リカーブ、コンパウンドいずれの区別も設けない。この部門の用具規則は、第226条(視覚障害競技者)を参照。</p>	<p>視覚障害(VI) ●VI1 ●VI2-3 ●VI1 U21 ●VI2-3 U21 この種別には男女、リカーブ、コンパウンドいずれの区別も設けない。この部門の用具規則は、第226条(視覚障害競技者)を参照。</p>
221	5			<p>パラアーチェリー競技のU21カテゴリーは、競技者が20歳の誕生日を迎える年の年末までの競技会に参加することが出来る。</p>
222	1		<p>全競技者は、クラス分けカードの取得を求められ、用具検査時、審判員に提示する。これにより審判員は、競技者の用具を検査する際、補助用具を確認することが可能となる。このカードを持たない競技者は規則に違反することになり、自身の属する障害度のカテゴリーで競技することができない。</p>	<p>全競技者は、クラス分けカードの取得を求められ、用具検査時、審判員に提示する。これにより審判員は、競技者の用具を検査する際、競技用補助具を確認することが可能となる。このカードを持たない競技者は規則に違反することになり、自身の属する障害度のカテゴリーで競技することができない。</p>
223			補助用具	競技用補助具
223	1		<p>国際もしくは国内クラス分け委員に認定されたクラス分けカードを所有する競技者は、補助用具を使用することができる。補助用具については付則3:補助用具を参照。</p>	<p>国際もしくは国内クラス分け委員に認定されたクラス分けカードを所有する競技者は、競技用補助具を使用することができる。競技用補助具については付則3:競技用補助具を参照。</p>
223	2		<p>パラ競技者と分類されるクラス分け基準を満たさない競技者は、一般の競技会に参加できるように補助用具の申請をすることができる。しかし、補助用具は得点の向上につながるものであってはならない。パラ競技者と分類される最低限の基準を満たさない、またはクラス分けに該当しない状態にある競技者は、主催者に補助用具の使用を申請することができる。</p>	<p>パラ競技者と分類されるクラス分け基準を満たさない競技者は、一般の競技会に参加できるように競技用補助具の申請をすることができる。しかし、競技用補助具は得点の向上につながるものであってはならない。パラ競技者と分類される最低限の基準を満たさない、またはクラス分けに該当しない状態にある競技者は、主催者に競技用補助具の使用を申請することができる。</p>
224	3		個人(男女混合)	個人(男女区分なし)
225	4	2	個人戦のレーン幅は、最低2.50m(または3.75m)	個人戦のレーン幅は、最低2.50m
225	4	3	ダブルスおよびミックス団体戦のレーン幅は、最低3.75m	ダブルスおよびミックス団体戦のレーン幅は、 最低2.50m
226	4		<p>サイトおよびそのスタンドは他の競技者の妨げとなってはならない。 スタンドおよびフットロケータの全幅は80cm(31.5インチ)を超えてはならない。 競技者の体に触れているフットロケータの機能部分の深さは6cm(2.5インチ)を超えてはならない。 各触知式スタンド間の距離は少なくとも90cm(35.5インチ)とする。(各触知式スタンドの端から計測する)触知式サイトの大きさは、あらゆる方向から計測して2cmを超えてはならず、競技者の手または上腕の外側のみに触れている状態ではなければならない。</p>	<p>サイトおよびそのスタンドは他の競技者の妨げとなってはならない。 スタンドおよびフットロケータの全幅は80cm(31.5インチ)を超えてはならない。 競技者の体に触れているフットロケータの機能部分の深さは6cm(2.5インチ)を超えてはならない。 各触知式スタンド間の距離は少なくとも90cm(35.5インチ)とする。(各触知式スタンドの端から計測する)触知式サイトの大きさは、あらゆる方向から計測して2cmを超えてはならず、競技者の手首から指の付け根のみに触れている状態ではなければならない。それは指関節の間でも構わないが、指の間にあるはならない。</p>
226	9	1	VI競技者は、スポッターを帯同することができ、シューティングラインの1m 後方に座るか立つことができる。	VI競技者は、スポッターを帯同することができ、シューティングラインの1m 後方に 座る必要がある 。

条	項	号	2022～2023年版(旧)	2024～2025年版(新)
付則3 補助 用具			補助用具	競技用補助具
付則3 補助 用具	1	456	(4)車椅子の長さは、1.25mを超えてはならない。 (5)転倒防止器具の使用は認められる。 (6)傾倒防止器具は、地上に接していなければ使用することができる。	(4)車椅子の長さは、 全ての機器、それに乗る競技者を含め、1.25mを超えてはならない。 (5) 地面が平らでない場合、車いすを水平にするためのブロックの使用は認められる。 (6) シューティングライン上の行射位置において、地表が著しく傾いている場合にのみ、車椅子の後輪に傾倒防止器具または添え木を2つまで使用することが出来る。行射位置が平らな場合は、車輪に接している傾倒防止器具または添え木の使用は認められない。行射位置の地表に接していない車椅子搭載の車輪ブレーキ装置の使用は認められる。
付則3 補助 用具	4	2	2 リリースエイドシステムは、側面保持の機能、または剛性のあるコルセットとしての機能を有してはならない。	2 リリースエイドシステムは、側面保持の機能、または 追加的な胴体保持の機能を有してはならない。 a. リリースエイドシステムは、 肋骨の最下部より下に取り付けてはならない。 b. リリースエイドシステムの剛性のある素材は 胴体の半分以上に巻かれてはならない。ひもまたはストラップを胴体の残りの部分に固定するのに使用することができる。
付則3 補助 用具	10	1	矢を安全にまたは効率的につがえることができない、またはサイトを調整できない上肢に障害のあるW1もしくはスタンディングの競技者は、クラス分け委員の承認に基づき、アシスタントを付けることができる。行射のアシスタントは、行射終了の合図があるまでサイトを調整してはならない。	クラス分け委員の承認に基づき、上肢に重い障害があり、矢を安全にまたは効率的につがえることができない、またはサイトを調整できない競技者は、それを補助するためのアシスタントを付けることが認められる。
付則3 補助 用具	10	3		競技者は、アシスタントに矢のセットやサイト等の器具の調整を指示することが出来る。アシスタントは行射中無言である必要があり、競技者に対していかなるコーチング行為をしてはならない。特に、矢のスポッティングやスコープ、双眼鏡の使用は禁止される。
302	7	1	矢は、ヘッド(ポイント)の付いたシャフト、ノック、および羽根とからなり、クレストを付けてもよい。シャフトの最大直径は9.3mm(アローラップが使用される場合、その長さがノックの溝から計測して22cm以内であれば、この制限に該当しない)を超えてはならない。シャフトの直径が9.3mmの場合、そのポイントの最大直径は9.4mmあってよい。各競技者の矢には、シャフトに競技者の名前またはイニシャルを書き、同じエンドで使用するすべての矢は、同じ色のシャフト、同じ形状および色の組み合わせの羽根、同じ色のノックとし、クレストを付ける時には同じ色の組み合わせの模様とする。曳光ノック(電気、電子的に発光するノック)は使用することができない。	矢は、ヘッド(ポイント)の付いたシャフト、ノック、および羽根とからなり、クレストを付けてもよい。シャフトの最大直径は9.3mm(アローラップが使用される場合、その長さがノックの溝から計測して22cm以内であれば、この制限に該当しない)を超えてはならない。 矢のポイントの直径は、9.4mmを超えてはならない。 各競技者の矢には、シャフトに競技者の名前またはイニシャルを書き、同じエンドで使用するすべての矢は、同じ色のシャフト、同じ形状および色の組み合わせの羽根、同じ色のノックとし、クレストを付ける時には同じ色の組み合わせの模様とする。曳光ノック(電気、電子的に発光するノック)は使用することができない。
302	9		スコープ、双眼鏡およびその他の光学器具は、矢の的中を確認するために使用することができる。	削除、以下繰り上げ
302	9	1	それらは、距離の測定の助けになる目に見えるスケール、もしくは目印は使用することができない。これらは、競技者が見たり触れたりできないように覆い隠さなければならず、これには製造業者によって取り付けられた焦点調節ダイヤルを含む。	削除
302	9	2	通常的眼鏡または競技用の眼鏡およびサングラスは使用することができる。ただし、マイクロホールレンズまたは同様な装置、およびどのような形であっても照準の助けになる印が付いた眼鏡は使用することができない。	削除
302	9	3	的を狙わない側の目および/または眼鏡を覆う必要がある場合、プラスチック、フィルムまたはテープを使用することができる。また、アイパッチを使用することができる。	削除
303	5	5	第302条10項	削除
304	7	1	矢は、ヘッド(ポイント)の付いたシャフト、ノック、および羽根とからなり、クレストを付けてもよい。シャフトの最大直径は9.3mm(アローラップが使用される場合、その長さがノックの溝から計測して22cm以内であれば、この制限に該当しない)を超えてはならない。シャフトの直径が9.3mmの場合、そのポイントの最大直径は9.4mmあってよい。各競技者の矢には、シャフトに競技者の名前またはイニシャルを書き、同じエンドで使用するすべての矢は、同じ色のシャフト、同じ形状および色の組み合わせの羽根、同じ色のノックとし、クレストを付ける時には同じ色の組み合わせの模様とする。曳光ノック(電気、電子的に発光するノック)は使用することができない。	矢は、ヘッド(ポイント)の付いたシャフト、ノック、および羽根とからなり、クレストを付けてもよい。シャフトの最大直径は9.3mm(アローラップが使用される場合、その長さがノックの溝から計測して22cm以内であれば、この制限に該当しない)を超えてはならない。 矢のポイントの直径は、9.4mmを超えてはならない。 各競技者の矢には、シャフトに競技者の名前またはイニシャルを書き、同じエンドで使用するすべての矢は、同じ色のシャフト、同じ形状および色の組み合わせの羽根、同じ色のノックとし、クレストを付ける時には同じ色の組み合わせの模様とする。曳光ノック(電気、電子的に発光するノック)は使用することができない。
304	9		スコープ、双眼鏡およびその他の光学器具は、矢の的中を確認するために使用することができる。	削除、以下繰り上げ

条	項	号	2022～2023年版(旧)	2024～2025年版(新)
304	9	1	それらは、距離の測定の助けになる目に見えるスケール、もしくは目印は使用することができない。これらは、競技者が見たり触れたりできないように覆い隠さなければならない、これには製造業者によって取り付けられた焦点調節ダイヤルを含む。	削除
304	9	2	通常的眼鏡または競技用の眼鏡およびサングラスは使用することができる。ただし、マイクロホールレンズまたは同様な装置、およびどのような形であっても照準の助けになる印が付いた眼鏡は使用することができない。	削除
304	9	3	的を狙わない側の目および/または眼鏡を覆う必要がある場合、プラスチック、フィルムまたはテープを使用することができる。また、アイパッチを使用することができる。	削除
305	6	1	矢は、ヘッド(ポイント)の付いたシャフト、ノック、および羽根とからなり、クレストを付けてもよい。シャフトの最大直径は9.3mm(アローラップが使用される場合、その長さがノックの溝から計測して22cm以内であれば、この制限に該当しない)を超えてはならない。シャフトの直径が9.3mmの場合、そのポイントの最大直径は9.4mmであってもよい。競技中に使用するすべての矢は、同じ色のシャフト、同じ形状および色の組み合わせの羽根、同じ色のノックとし、クレストを付ける時には同じ色の組み合わせの模様とする。競技者の矢は、シャフトに競技者の名前またはイニシャルを書く。曳光ノック(電気、電子的に発光するノック)は、使用することができない。	矢は、ヘッド(ポイント)の付いたシャフト、ノック、および羽根とからなり、クレストを付けてもよい。シャフトの最大直径は9.3mm(アローラップが使用される場合、その長さがノックの溝から計測して22cm以内であれば、この制限に該当しない)を超えてはならない。矢のポイントの直径は、9.4mmを超えてはならない。競技中に使用するすべての矢は、同じ色のシャフト、同じ形状および色の組み合わせの羽根、同じ色のノックとし、クレストを付ける時には同じ色の組み合わせの模様とする。競技者の矢は、シャフトに競技者の名前またはイニシャルを書く。曳光ノック(電気、電子的に発光するノック)は、使用することができない。
305	8		スコープ、双眼鏡およびその他の光学器具は、矢の的中を確認するために使用することができる。	削除、以下繰り上げ
305	8	1	それらは、距離の測定の助けになる目に見えるスケール、もしくは目印は使用することができない。これらは、競技者が見たり触れたりできないように覆い隠さなければならない、これには製造業者によって取り付けられた焦点調節ダイヤルを含む。	削除
305	8	2	通常的眼鏡または競技用の眼鏡およびサングラスは使用することができる。ただし、マイクロホールレンズまたは同様な装置、およびどのような形であっても照準の助けになる印が付いた眼鏡は使用することができない。	削除
305	8	3	的を狙わない側の目および/または眼鏡を覆う必要がある場合、プラスチック、フィルムまたはテープを使用することができる。また、アイパッチを使用することができる。	削除
306	1	1	U21および女子の弓は150cm以下、男子の弓は160cm以下の長さであってはならない。弓の長さは、弦が張られた状態でリムの外(バック)側に沿ってストリングノック間を計測する。	弓は150cm以下の長さであってはならない。弓の長さは、弦が張られた状態でリムの外(バック)側に沿ってストリングノック間を計測する。
306	6	1	矢は、ヘッド(ポイント)の付いた木製のシャフト、ノック(木製のシャフトに直接付ける、もしくはシャフトに直接切り込みを入れたノック)、および羽根とからなり、クレストを付けてもよい。シャフトの最大直径は9.3mm(アローラップが使用される場合、その長さがノックの溝から計測して22cm以内であれば、この制限に該当しない)を超えてはならない。シャフトの直径が9.3mmの場合、そのポイントの最大直径は、9.4mmであってもよい。競技中に使用するすべての矢は、同じ色のシャフト、同じ形状および色の組み合わせの羽根、同じ色のノックとし、クレストを付ける時には同じ色の組み合わせの模様とする。競技者の矢は、シャフトに競技者の名前またはイニシャルを書く。	矢は、ヘッド(ポイント)の付いた木製のシャフト、ノック(木製のシャフトに直接付ける、もしくはシャフトに直接切り込みを入れたノック)、および羽根とからなり、クレストを付けてもよい。シャフトの最大直径は9.3mm(アローラップが使用される場合、その長さがノックの溝から計測して22cm以内であれば、この制限に該当しない)を超えてはならない。矢のポイントの直径は、9.4mmを超えてはならない。競技中に使用するすべての矢は、同じ色のシャフト、同じ形状および色の組み合わせの羽根、同じ色のノックとし、クレストを付ける時には同じ色の組み合わせの模様とする。競技者の矢は、シャフトに競技者の名前またはイニシャルを書く。ロングボウで使用される矢は標的の面またはバットレスに不当な損傷を与えるものであってはならない。
306	8		スコープ、双眼鏡およびその他の光学器具は、矢の的中を確認するために使用することができる。	削除、以下繰り上げ
306	8	1	それらは、距離の測定の助けになる目に見えるスケール、もしくは目印は使用することができない。これらは、競技者が見たり触れたりできないように覆い隠さなければならない、これには製造業者によって取り付けられた焦点調節ダイヤルを含む。	削除
306	8	2	通常的眼鏡または競技用の眼鏡およびサングラスは使用することができる。ただし、マイクロホールレンズまたは同様な装置、およびどのような形であっても照準の助けになる印が付いた眼鏡は使用することができない。	削除
306	8	3	的を狙わない側の目および/または眼鏡を覆う必要がある場合、プラスチック、フィルムまたはテープを使用することができる。また、アイパッチを使用することができる。	削除
307			(フィールドアーチェリーの用具の特則) 全部門の競技者は、次の用具を使用することはできない	(フィールドアーチェリーの用具の特則) 全部門の競技者は、次の用具の使用は以下のとおり制限される。

条	項	号	2022～2023年版(旧)	2024～2025年版(新)
307	1		競技者の用具に装着可能なあらゆる電氣的または電子的装置。	競技者の用具に装着可能なあらゆる電氣的または電子的装置は 使用することができない 。
307	2		競技会の期間中のコース内で、電子的通信装置(携帯電話を含む)、ヘッドホンおよびイヤホン等を使用した装置または音を減少させる装置。	競技会のコース内では、 電子的通信装置(携帯電話を含む)は医学的症状のモニタリングまたはSNSでの競技普及に資する情報発信に限り使用することができる。ただし、使用に際し、第314条に抵触しないものとする。 なお、ワールドランキングイベント、あるいは、大陸/世界選手権においては、医学的理由による特例が認められた場合を除き、電子的通信装置は 使用することはできない 。
307	2	1	(新規追加)	医学的症状のモニタリングのための装置を使用する場合、 競技者はまず審判長にその意向を伝え、装置/アプリがどのように作動するかを実際に見せなければならない。
307	3		競技者の用具としてこの競技規則に記載されていない距離の測定器またはその他の距離あるいは角度測定装置、手書きのメモ、もしくはメモを保管した電子記憶装置。競技者は競技規則またはその一部の写しを携帯することができる。	競技者の用具としてこの競技規則に記載されていない距離の測定器またはその他の距離あるいは角度測定装置、手書きのメモ、もしくはメモを保管した電子記憶装置は 使用することができない 。競技者は競技規則またはその一部の写しを携帯することができる。
307	4		距離または角度測定の目的で、競技者の用具に追加または改造した部品、または明白にその目的で使用される等、間隔の印付き用具。	距離または角度測定の目的で、競技者の用具に追加または改造した部品、または明白にその目的で使用される等、間隔の印付き用具は 使用することができない 。
308			(新規追加)	(双眼鏡およびその他光学機器使用の通則) 双眼鏡およびその他光学機器の使用を以下の通りとする。
308	1		(新規追加)	スコープ、双眼鏡およびその他の光学機器には、距離の測定の助けになる目に見えるスケール、もしくは目印があつてはならない。これらは、 競技者が見たり触れたりできないように覆い隠されなければならない 。製造業者によって取り付けられた焦点調節ダイヤルが、調節したときに目印になる場合も同様である。
308	2		(新規追加)	通常の眼鏡、競技用の眼鏡およびサングラスは 使用することができる 。ただし、マイクロホールレンズまたは同様な装置、およびどのような形であっても照準の助けになる印が付いた眼鏡は 使用することができない 。
308	3		(新規追加)	的を狙わない側の目および/または眼鏡を覆う必要がある場合、プラスチック、フィルムまたはテープを使用することができる。また、アイパッチを使用することができる。 新規追加、以下繰り下げ
311	1		個人戦 (1)フィールドラウンドでは、すべてのラウンドで1つの標的につき3射を行射する。 (2)3Dラウンドでは、予選ラウンドは、1つの標的に2射、イリミネーションラウンドおよびファイナルラウンドでは、1つの標的に1射を行射する。	個人戦 (1)フィールドラウンドでは、すべてのラウンドで1つの標的につき3射を行射する。 (2)3Dラウンドでは、 すべてのラウンドで1つの標的に2射 を行射する。
311	2		団体戦 (1)すべてのラウンドで、各標的に1チームで3射(1名1射)を行射する。最初の標的では、予選ラウンドの上位チームが行射の順序を決定する。以降は、累計得点の低いチームが次の標的を先に行射し、両チームが同点の場合、最初に先射したチームが先に行射する。	団体戦 最初の標的では、予選ラウンドの上位チームが行射の順序を決定する。以降は、累計得点の低いチームが次の標的を先に行射し、両チームが同点の場合、最初に先射したチームが先に行射する。 (1)フィールドラウンドでは、すべてのラウンドで、各標的に1チームで3射(1名1射)を行射する。 (2)3Dラウンドでは、すべてのラウンドで、各標的に1チームで4射(1名1射)を行射する。
311	3		ミックス団体戦 (1)ミックス団体戦で、フィールドでは各競技者は2射、3Dでは1射する。最初の標的では、予選ラウンドの上位チームが行射の順序を決定する。以降は、累計得点の低いチームが次の標的を先に行射し、両チームが同点の場合、最初に先射したチームが先に行射する。 (2)フィールドのミックス団体戦では、競技者は1射ごとに交代する。	ミックス団体戦 (1)ミックス団体戦で、 各競技者は2射する 。最初の標的では、予選ラウンドの上位チームが行射の順序を決定する。以降は、累計得点の低いチームが次の標的を先に行射し、両チームが同点の場合、最初に先射したチームが先に行射する。 (2)フィールドのミックス団体戦では、競技者は1射ごとに交代する。
313	1	1	以下の場合、矢を発射したとはみなさない。 弓から落ちて競技者が触れることのできる場合、もしくは競技者が、斜面に落ちた矢の最初の着地点が、ペグに対する両足の位置を動かさずに自分の弓で触れることができる場合。ただし、跳ね返り矢を除く。	以下の場合、矢を発射したとはみなさない。 弓から落ちて競技者が触れることのできる場合、もしくは競技者が、斜面に落ちた矢の最初の着地点を、ペグに対する両足の位置を動かさずに自分の弓で触れることができる場合。ただし、跳ね返り矢を除く。
314			競技者、コーチおよびチーム役員もしくはその他のいかなる者も、距離、角度およびその他の助言的情報についてその日の競技が終了するまで話し合つてはならない。	競技者、コーチおよびチーム役員もしくはその他のいかなる者も、距離、角度およびその他の助言的情報についてその日の競技が終了するまで 情報交換してはならない 。

条	項	号	2022～2023年版(旧)	2024～2025年版(新)
314	1		グループ内の競技者は、その標的の採点が終了するまで距離について話し合ってはならない。コーチおよびチーム役員は、予選ラウンドの競技中は競技者と話をしてはならない。この規則に違反したコーチは、1回目の違反では審判員から警告を与えられるとともに、コース入場に必要IDカードにその旨を記入する。2回目の違反では、IDカードを没収し、残りの競技会について、IDカードの必要なエリアへの立ち入りを禁止する。このことは競技委員長に報告される。	グループ内の競技者は、その標的の採点が終了するまで距離について 情報交換 してはならない。コーチおよびチーム役員は、予選ラウンドの競技中は競技者と話をしてはならない。この規則に違反したコーチは、1回目の違反では審判員から警告を与えられるとともに、コース入場に必要IDカードにその旨を記入する。2回目の違反では、IDカードを没収し、残りの競技会について、IDカードの必要なエリアへの立ち入りを禁止する。このことは競技委員長に報告される。
314	2		団体戦では、そのチームの3名の競技者およびコーチの間でのみ話し合いをしてもよい。ど他のチーム役員とも、距離を伝えてはならない。 チームのメンバーは、行射中の競技者シューティングベグから十分離れた後方に立って話しをしてもよい。チームに帯同するコーチ1名は、シューティングベグに近づくことができるが、採点のために標的に行くときには離れた位置にいなければならない。「コーチボックス/エリア」が設けられている場合、コーチは行射が行われている間、このエリアに留まらなければならない。 必要であれば、1チームにつき1名以上が、予備の弓をチームに運ぶために同行できるが、行射するエリアの外で待機せねばならず、行射中にチームをコーチすることはできない。女子、男子またはジュニアチームのコーチは、同一所属団体の他のチームに合流することはできない。 ファイナルラウンドの間、同一所属団体の男女のチームのコーチ間で連絡を取ることはできない。	団体戦では、そのチームの競技者およびコーチの間でのみ 情報交換 をしてもよい。ど他のチーム役員とも、距離を伝えてはならない。 チームのメンバーは、行射中の競技者シューティングベグから十分離れた後方に立って話しをしてもよい。チームに帯同するコーチ1名は、シューティングベグに近づくことができるが、採点のために標的に行くときには離れた位置にいなければならない。「コーチボックス/エリア」が設けられている場合、コーチは行射が行われている間、このエリアに留まらなければならない。 必要であれば、1チームにつき1名以上が、予備の弓をチームに運ぶために同行できるが、行射するエリアの外で待機せねばならず、行射中にチームをコーチすることはできない。女子、男子またはU21チームのコーチは、同一所属団体の他のチームに合流することはできない。 ファイナルラウンドの間、同一所属団体の男女のチームのコーチ間で連絡を取ることはできない。
315			(新規追加)	フィールドラウンドおよび3Dラウンドにおいて、 コーチのコースへの立ち入りは以下のとおり制限される。
315	1		(新規追加)	予選ラウンドおよびイリミネーションラウンドのコースに コーチの立ち入りは許されない 。コーチは、 競技委員長が指定した区域の外に留まらなければならない。
315	2		(新規追加)	コーチはファイナルラウンドのコースに立ち入ることができる。 ただし、競技委員長が指定した区域に留まらなければならない。競技者の日除けが必要な場合は、当該セッションの開始までに審判長の許可を得ていれば、この限りではない。 新規追加、以下繰り下げ
323	1	1	フィールドラウンド:予選ラウンドでは3分	フィールドラウンド:予選ラウンドでは 180秒
323	1	2	フィールドラウンド:イリミネーションラウンドでは2分	削除 新規追加、以下繰り上げ
323	1	3	フィールドのミックス団体戦で4射するときには、制限時間は160秒	削除
323	1	2	3Dラウンド:予選ラウンドでは2分	3Dラウンド:予選ラウンドでは 120秒
323	1	5	3Dラウンド:イリミネーションラウンドでは1分	削除
323	1	6	フィールドおよび3D団体戦イリミネーション:ファイナルラウンドでは2分	削除
323	1	7	3Dのミックス団体戦で2射するときには、制限時間は90秒	削除
325			イリミネーションラウンドおよび準決勝戦で、審判員が競技者グループに同行する場合、行射の開始と終了を口頭で伝える。(開始は「始め！」および制限時間が経過したときは「止め！」)	イリミネーションラウンドおよび準決勝戦では 以下のとおりとする。
325	1		フィールドおよび3Dラウンドでは、それぞれ所定の制限時間の残り30秒の時点で、審判員はイエローカードを示して口頭で警告を与える。	競技者グループに同行する審判員は、常に競技者に対して立つベグおよび行射する標的を示す。
325	2		(新規追加)	対戦の時間管理が手動である場合、審判員は行射の開始と終了を口頭で伝える(開始は「始め！」および制限時間が経過したときは「止め！」)。所定の制限時間の残り30秒の時点で、審判員はイエローカードを示す。行射時間は競技者がベグに立った時点から開始される。 新規追加、以下繰り下げ
325	4		フィールドラウンドでは、個人戦および団体戦の制限時間は2分である。	フィールドラウンドでは、個人戦および団体戦の制限時間は 120秒 、ミックス団体戦は 160秒 である。
325	5		3Dラウンドでは、個人戦の制限時間は1分、団体戦は2分である。	3Dラウンドでは、個人戦の制限時間は 90秒 、 団体戦は120秒 、ミックス団体戦は 160秒 である。

条 項 号	2022～2023年版(旧)		2024～2025年版(新)
325	6	(新規追加)	対戦がDOSによって管理されている場合、審判員はDOSに競技者の準備ができたことを合図し、音響信号が発せられたら、選手は信号が赤色である10秒の間にベグまで進むことができる。行射は緑色の信号および音響信号により開始し、赤色の信号および音響信号の鳴り始めにより終了する。 新規追加、以下繰り下げ
326	2	フィールドラウンドでは、個人戦および団体戦の制限時間は2分である。	フィールドラウンドでは、個人戦および団体戦の制限時間は120秒、ミックス団体戦は160秒である。
326	3	3Dラウンドでは、個人戦の制限時間は1分、団体戦は2分である。	3Dラウンドでは、個人戦の制限時間は90秒、団体戦は120秒、ミックス団体戦は160秒である。
326	4	個人戦では、競技者が自分のベグに立ったときに時間計測を開始する。団体戦では、競技者が赤色のベグに立ったときに開始し、一人ずつ行射する。	対戦が審判員によって管理されている場合、個人戦では、競技者が自分のベグに立ったときに時間計測を開始する。団体戦では、競技者が赤色のベグに立ったときに開始し、一人ずつ行射する。
326	5	(新規追加)	対戦がDOSによって管理されている場合、審判員はDOSに競技者の準備ができたことを合図し、音響信号が発せられたら、選手は信号が赤色である10秒の間にベグまで進むことができる。行射は緑色の信号および音響信号により開始し、赤色の信号および音響信号の鳴り始めにより終了する。
328	2	2 3Dの場合 a それぞれのチームは、そのチームの競技者が1射するごとに交代しなければならない。 b 先射ちチームが2射して、ベグから離れるか、制限時間が終了したとき、そのチームの時計が止まる。 c ベグから競技者がいなくなったとき、後射ちチームの時計が開始され、そのチームの最初の競技者が行射のためにベグに向かう。 d 後射ちチームが2射するか、制限時間が終了したとき、採点の合図が与えられる。 e シュートオフでは、その対戦の先射ちチームが行射を先に開始し、1射ごとにそれぞれのチームで交代する。	3Dの場合 a それぞれのチームは、そのチームの競技者が1射するごとに交代しなければならない。 b 先射ちチームが4射して、ベグから離れるか、制限時間が終了したとき、そのチームの時計が止まる。 c ベグから競技者がいなくなったとき、後射ちチームの時計が開始され、そのチームの最初の競技者が行射のためにベグに向かう。 d 後射ちチームが4射するか、制限時間が終了したとき、採点の合図が与えられる。 e シュートオフでは、その対戦の先射ちチームが行射を先に開始し、1射ごとにそれぞれのチームで交代する。
328	3	(新規追加)	同時射ちの場合、一方の競技者またはチームが、競技の開始時にその場にいなかったときは、不戦勝マッチとなる。競技の開始とは、審判員がマッチ前の説明を行う時を指す。その時点で、その場にいる競技者またはチームをそのマッチの勝者とする。
331	2	イリミネーションラウンドへの進出、または予選ラウンドの上位2位を決定するときの同点は、シュートオフで同点を解消する。 ・フィールドラウンドでは、シュートオフはその部門の最長距離の標的で行う。 ・3Dラウンドでは、シュートオフは審判員が設置した距離で行う。 ・シュートオフは、同点が発生した部門のすべてのスコアカードの記録が確認された後、ただちに実施される。当該競技者またはチームの監督にシュート オフの通告がなされた後、30分以内に現れなければその権利を失う。公式に結果が確認されておらず、シュートオフが通告されていない場合、競技者およびチームの監督が競技場を離れていた場合、その競技者は権利を失う。	イリミネーションラウンドへの進出を決定するときの同点は、シュートオフでこれを解消する。 ・フィールドラウンドでは、シュートオフはその部門の最長距離の標的で行う。 ・3Dラウンドでは、シュートオフは審判員が設置した距離で行う。 ・シュートオフは、同点が発生した部門のすべてのスコアカードの記録が確認された後、ただちに実施される。当該競技者またはチームの監督にシュート オフの通告がなされた後、15分以内に現れなければその権利を失う。公式に結果が確認されておらず、シュートオフが通告されていない場合、競技者およびチームの監督が競技場を離れていた場合、その競技者は権利を失う。
331	3	競技会のあるステージから次のステージへの進出するときの同点(第329条2項で規定されるものを除く)、またはファイナルラウンドでメダル決定するときの同点は、シュートオフで同点を解消する。 ・シュートオフは、同点が発生した部門のすべてのスコアカードの記録が確認された後、ただちに実施される。当該競技者またはチームの監督にシュート オフの通告がなされた後、30分以内に現れなければその権利を失う。公式に結果が確認されておらず、シュートオフが通告されていない場合、競技者およびチームの監督が競技場を離れていた場合、その競技者は権利を失う。	競技会のあるステージから次のステージへの進出するときの同点(第331条2項で規定されるものを除く)、またはファイナルラウンドでメダル決定するときの同点は、シュートオフでこれを解消する。 ・シュートオフは、マッチの最後に、審判員がシュートオフの通告を行った後ただちに実施される。
331	3	2 団体戦のシュートオフ a 得点による3射(各競技者1射)のシュートオフを行う。 b チームの競技者は交代して行射する。 c 制限時間は、フィールドラウンド、3Dラウンドとも2分とする。 d 同点の場合、チーム内で中心に最も近い矢で決定する。これも同じならば、チーム内で2番目(2番目も同じ場合、3番目)に中心に近い矢で決定する。 e このシュートオフは、対戦が行われていたコースで行われる。	団体戦のシュートオフ a 得点による3射(各競技者1射)のシュートオフを行う。 b チームの競技者は交代して行射する。 c 制限時間は、フィールドラウンド、3Dラウンドとも120秒とする。 d 同点の場合、チーム内で中心に最も近い矢で決定する。これも同じならば、チーム内で2番目(2番目も同じ場合、3番目)に中心に近い矢で決定する。 e このシュートオフは、対戦が行われていたコースで行われる。

条	項	号	2022～2023年版(旧)	2024～2025年版(新)
331	3	3	ミックス団体戦のシュートオフ a 得点による2射1エンド(各競技者1射)のシュートオフを行う。 b チームの競技者は交代して行射する。 c 同点の場合、チーム内で中心に最も近い矢で決定し、これも同じなら、2番目に中心に近い矢で決定する。 d 制限時間は、フィールドラウンドでは80秒とし、3Dラウンドでは1分とする。 e シュートオフは、対戦が行われていたコースで実施される。	ミックス団体戦のシュートオフ a 得点による2射1エンド(各競技者1射)のシュートオフを行う。 b チームの競技者は交代して行射する。 c 同点の場合、チーム内で中心に最も近い矢で決定し、これも同じなら、2番目に中心に近い矢で決定する。 d 制限時間は、フィールドラウンド、 3Dラウンドとも80秒 とする。 e シュートオフは、対戦が行われていたコースで実施される。
335	4		予選ラウンドが終了する前に競技会を中止するときには、それぞれの部門の全競技者が行射した同じ標的数の得点合計で、各部門のランキング順位を、またそれ以降の競技会続行が不可能な場合、優勝者を決定する。	予選ラウンドが終了する前に競技会を中止するときには、 各カテゴリー の全競技者が行射した同じ標的数の得点合計で、 各カテゴリー のランキング順位を、またそれ以降の競技会続行が不可能な場合、優勝者を決定する。
343	4		(新規追加)	携帯通信装置を使って距離・角度の計算や伝達を試みたことが認められた競技者は失格となる。審判員にその懸念が提起された場合、審判員は問題の装置を検査する権利を有する。
348	3		以下が確認された場合 (1)フィールドラウンドにおいて、競技者がすでに行射し終わった標的で寸法の異なる標的面に交換された。 (2)ある競技者がすでに行射した標的で、ペグの位置が移動された。 (3)木の枝が垂れ下がるなどして、特定の競技者がある標的で行射できなくなる、または、できなくなった。 その申し立ては認められるべきであり、その標的の得点は、すべての競技者の得点の対象から除外される。1個またはそれ以上の数の標的が除外されたときには、残りの数の標的でラウンドのすべてが行われたものとする。	以下が確認された場合 (1)フィールドラウンドにおいて、競技者がすでに行射し終わった標的で寸法の異なる標的面に交換された。 (2)ある競技者がすでに行射した標的で、ペグの位置が移動された。 (3)木の枝が垂れ下がるなどして、特定の競技者がある標的で行射できなくなる、または、できなくなった。 上記内容の申し立てが認められた場合、その標的の得点は、当該カテゴリーのすべての競技者の得点の対象から除外される。1個またはそれ以上の数の標的が除外されたときには、残りの数の標的でラウンドのすべてが行われたものとする。
349	2		下記各号に該当する事項について、競技者またはチームの監督は、競技委員長へ供託金5,000円を添えて異議申立をすることができる。	下記各号に該当する事項について、競技者またはチームの監督は、競技委員長へ異議申立をすることができる。
350	1		競技者が審判員の裁定に不服がある場合、第104条4項により上訴委員会に提訴することができる。紛争の結果により影響のあるトロフィーまたは賞は、上訴委員会が裁定を下すまでこれを授与してはならない。	上訴委員会を設置している競技会においては、競技者またはチームの監督は、競技委員長または審判長の裁定に不服がある場合、第104条4項により上訴委員会に提訴することができる。上訴の際には供託金5,000円を添えて書面にて提訴するものとする。
350	2		(新規追加)	上訴委員会の決定は最終判断であり、再上訴することは出来ない。

公認審判員規定

条	項	号	2022～2023年版(旧)	2024～2025年版(新)
5			第5条(3級公認審判員) 3級公認審判員は、審判業務について一定水準以上の技術を有し、本連盟が主催または公認する競技会の審判員の任に当たる資格を有する。 ただし、全日本学生アーチェリー連盟関係競技会においては審判長およびDOSは3級とすることができる。	第5条(3級公認審判員) 3級公認審判員は、審判業務について一定水準以上の技術を有し、本連盟が主催または公認する競技会の審判員の任に当たる資格を有する。 ただし、 (一社) 全日本学生アーチェリー連盟関係競技会においては審判長およびDOSは3級とすることができる。
6	1		第6条(審査および認定) 公認審判員の審査および認定は、次により行う。 1 1級公認審判員は、審査時に2級公認審判員であって、本規程第7条第1項に基づいて本連盟競技部の審査(認定検定試験および実務研修(事前研修含む))を修了し、適格と認められた者に対して資格を認定する。審判員資格の委嘱は地区審判委員会の推薦を得て所属加盟団体が申請するものとし、理事会の承認を得て本連盟会長が委嘱する。	第6条(審査および認定) 公認審判員の審査および認定は、次により行う。 1 1級公認審判員は、審査時に2級公認審判員であって、本規程第7条第1項に基づいて本連盟競技部の審査(認定検定試験および実務研修(事前研修含む))を修了し、適格と認められた者に対して資格を認定する。 なお、WA認定国際審判員(IJステータスに限る)については、認定検定試験および実務研修を免除する。 審判員資格の委嘱は地区審判委員会の推薦を得て所属加盟団体が申請するものとし、理事会の承認を得て本連盟会長が委嘱する。
7	1	2	第7条(認定基準) 1 1級公認審判員 (2)年齢が30歳以上で、2級公認審判員として5年以上の経験を有すること。	第7条(認定基準) 1 1級公認審判員 (2) 年齢が30歳以上で 、2級公認審判員として5年以上の経験を有すること。
7	2	2	2 2級公認審判員 (2)年齢が24歳以上で、3級公認審判員として3年以上の経験を有すること。	2 2級公認審判員 (2) 年齢が24歳以上で 、3級公認審判員として3年以上の経験を有すること。

条	項	号	2022～2023年版(旧)	2024～2025年版(新)
7	3	3	3 3級公認審判員 (3)加盟団体が主催または後援する審判講習会の課程を終了した者。	3 3級公認審判員 (3)加盟団体が主催または後援する審判講習会の課程を 終修 した者。

日本記録の承認および管理要領

条	項	号	2022～2023年版(旧)	2024～2025年版(新)
			日本記録の管理は日本記録、日本U21記録・日本U18記録、日本国際記録とする。	日本記録の管理は日本記録、日本U21記録・日本U18記録・ 日本50+記録 、日本国際記録とする。
1			公社全日本アーチェリー連盟(以下本連盟という)で公認する日本記録、日本U21記録、日本U18記録および日本国際記録は本連盟競技規則 第121条(記録の種類)のとおりとする。	公社全日本アーチェリー連盟(以下本連盟という)で公認する日本記録、日本U21記録、日本U18記録、 日本50+記録 および日本国際記録は本連盟競技規則 第121条(記録の種類)のとおりとする。
10	④		(新規追加)	日本50+記録(日本国籍) 新規追加、以下繰り下げ
10	⑤		日本国際記録(外国籍・留学生) 4種とする。	日本国際記録(外国籍・留学生) 5種 とする。

アンチドーピング規則

条	項	号	2022～2023年版(旧)	2024～2025年版(新)
			アンチ・ドーピング規則 (文末部分) 本規程の適用詳細は、下記参照のこと。 「日本アンチ・ドーピング規程」および その付属文書 https://www.playtruejapan.org/entry_img/jadaco_de2021.pdf 世界アンチ・ドーピング規程 禁止表国際基準 https://www.playtruejapan.org/entry_img/2022list_prohibited_v2.pdf	アンチ・ドーピング規則 (文末部分) 本規程の適用詳細は、下記参照のこと。 「日本アンチ・ドーピング規程」および その付属文書 https://www.playtruejapan.org/entry_img/jadaco_de2021.pdf 世界アンチ・ドーピング規程 2024禁止表国際基準 https://www.playtruejapan.org/entry_img/2024prohibited_list_jpn.pdf

全日本アーチェリー連盟 競技部
2024年4月1日 改正